

# バリ通信



2203号

サッカーの解説者気取りで今期のJ3リーグを語ってみた

『バリ通信読者の皆さん、こんにちは！』、M1王者となったお笑いコンビ『錦鯉』の長谷川マサノリさん（スキンヘッドのボケ役）と同じ年の丹下亮が、今回も役に立つのか立たないのか分からない話をお送り致しますので、最後までお付き合いください！

ネタに困ったらサッカーの事を書いているのがバレバレかもしれません、今回も、3月13日（日）に開幕戦をホームグラウンドで迎える我等がFC今治が所属するJ3リーグについて、独断と偏見、にわか知識のみで松木安太亮となりまして、展望というか希望というか、思っていることを書きたいと思います。

まずはこのJ3というリーグ、今年にしましてはコロナ禍の特例が重なり、J2から4チームも降格し（通常、降格は2チーム）、例年以上に激戦が予想されております。

J2からの降格チームは、皆さんご存知の通り、愛媛FCが初降格で参戦、J1経験のある長野県の松本山雅FC、J2昇格1年目で即降格してしまったSC相模原、2019年のJ3チャ

バリ通信は  
過去に

(有)FORZA  
愛媛日産自動車(株) 勤務時代  
公益社団法人 今治青年会議所  
今治商工会議所青年部

を通じて面識のある  
大切な方にお送り  
しております。

ンピオンのギラヴァンツ北九州の4チームとなっております。

J2とJ3ではJリーグからの分配金が1億2千万円も違っており（\*J1は3億5千万円、J2は1億5千万円、J3は僅か3千万円）、降格1年目の場合は前所属リーグの9割、2年目は8割を貰えるのでまだ良いのですが、降格3年目になると強化費が減ってしまうため、J3沼にハマってしまう可能性があるのです（香川県のカマタマーレ讃岐がハマったままです）。この4チームを軸に、バツチバチで見てたえのあるリーグ戦になる事はないでしょう！特に愛媛FCは今治には負けたくないでしょうから、プライドをかけた戦いになる6月12日（日）の『愛媛ダービー』（前期は今治のホームゲーム）は非常に見ごたえあること間違いありません！

更に下のリーグのJFLからは『アンダーアーマー』というアメリカのスポーツメーカーの日本総代理店が母体で『日本でフィジカルスタンダードを変える』と豪語する筋肉ムキムキ集団『いわきFC』（入団後のトレーニングでムキムキになる選手が多いのです）がトントン拍子で昇格してきており、『J3 2022 順位予想』と検索した際に上位で出てきたサッカーフリーグ（観戦オタク）のブログか何かの予想では、FC今治よ

りも上位に予想してやがるやないか！『この野郎くふざけんな！  
と言いたいところですが、昨年は成績不振で、異例のシーズン途中  
に2回も監督交代をすることになり、最終的には下から5番目の1  
位なので、そう予想されても仕方ないかもしれません。

しかし！紆余曲折を経て、異例のシーズン3人目の橋川監督に代  
わってからのサッカーを観ていないからそうなるのでありま  
す！！FC今治の全試合を夢スタもしくはDAZNで観戦した私  
は期待せずにはいられないのであります！（去年もそう書いた気が  
するけど・・・）橋川監督は、岡田オーナー肝入りの『岡田メ  
ソッド』を岡田さんたちと一緒に作り上げてきた人物のひとりであ  
り、FC今治が目指しているサッカーを特によく理解している人物  
です。スペインから来たリュイス監督や高校サッカー界のレジエン  
ドである布監督は、就任の時こそ『岡田メソッドに共感した』みた  
いな感じの事を話していましたが、全然違うサッカーをしていまし  
た。勿論、理想のサッカーで勝てるとは限りませんが、負けても引  
き分けても、岡田メソッド立ち上げ当初に描いた理想の未来を感じ  
させてくれるサッカーを私は観たいのであります！

昨年、橋川監督に交代してからの内容は、個人的には非常に魅力  
的に感じました。細かい説明は上手く書けません、岡田さんが  
オーナーに就任して最初の頃は、四国リーグでダントツの戦力だっ  
たからパスが面白いように回っていて大勝が多かったので、それま  
でサッカーをあまり観た事なかった人も『サッカーって面白い！』  
と感じていたのに、上のリーグに上がるにつれて、簡単には勝てな  
くなり、『パスを繋ぎまくるけど、ドリブルやロングパス、ミドル  
シュートを禁止されているかのようなサッカー』↓『とにかく堅実  
に守ってカウンターサッカー』↓『ハードワークでアグレッシブな  
攻守だが消耗が激しく勝負弱いサッカー』と、少し辛辣な書き方を

すると、監督が変わる度にサッカーの内容は変わってきていまし  
た。まあ当たり前と言えば当たり前なのですが、岡田さんが  
『サッカーの型』を作ると始めた『岡田メソッド』とはどんな  
離れて行っている気がしていましたが、橋川監督に交代後は『原  
点復帰』となって攻守に躍動していたように思います。

監督交代後直ぐに勝てた訳ではありませんが、チャンスの数、  
シュートの数は軒並みリーグトップクラスの数字に変化していま  
したし、勝った試合は勿論ですが、負け試合も引き分けの試合も  
見ていて面白かったし可能性を感じました。《さっきからお前は  
何様なんぞ？というツツコミは無しでお願いします（笑）》監  
督交代時に目標としていた『1試合平均、勝ち点2』（過去のJ  
3優勝チームの1試合平均勝ち点が2点前後。ちなみに勝利が勝  
ち点3点、引き分け1点、負け0点です）の目標を達成しまし  
た。勿論、優勝争いも降格争いも無くて全くのノープレッシャー  
で開き直れた事もあるとは思いますが、あれだけの短期間で魅力  
的なサッカーになった事で期待しかありません！

岡田メソッドとは一体なんぞや？という方は、ユーチューブの  
『岡田メソッドチャンネル』を見て貰えれば、橋川監督が岡田メ  
ソッドの取り組み（あくまで初歩的な内容ですが）を説明してい  
て、どんなサッカーをやるうとしているかが分かりますので是非  
ご覧ください！また『Jリーグ公式チャンネル』で中村憲剛さ  
んが『5レーン理論』を説明しているのですが、岡田メソッドの  
取り組みの一つでもあり、尚且つ非常に分かり易いので是非ご覧  
ください。

で、最終的にはFC今治と愛媛FCがワンツーフィニッシュで  
J2昇格する事を祈念して終了です！最後まで読んで頂きまして  
ありがとうございます。